

自己実現 2023

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【高校最後の定期考査が終わりました】

75回生のみなさんにとって、最後の定期(期末)考査が終わりました。焦らずに、できること、分かることをひとつでも増やすことが大切な時期です。しっかりと復習し、一つ一つ丁寧に自分のものとしていきましょう。学びを深める経験に勝る面白さはそうはないですよ。

【第5回実力考査答案返却及び個人成績票の返却(12/7(水)予定)について】

第5回実力考査の各教科の採点答案が返却されました。各回の実力考査にはそれぞれ意味があり、その時期ごとのみなさんの学力の到達度を測るとともに、みなさんの学力を引き上げるためのものでした。今回の実力考査は、国公立大学前期日程の約3か月前に実施したものであり、その結果です。何度も繰り返しますが勝負はこれからです。これ以降の3か月間にひとりひとりの状況は大きく変化し、同じ順位(成績)の人でも合否が分かれることが多々あります。また、逆転現象もあります。この結果は目安であって絶対的なものではなく、本当の意味での「実力」はまだ進化の途中であるということを肝に命じてください。

【A%・B%成績について】

3年生の実力考査は総合成績を「A%成績」・「B%成績」という数値で表示しています。第4回実力考査は、業者模試(ベネッセ・駿台記述模試)を利用して実施しましたが、第5回実力考査では、「A%成績」を算出するための各教科・科目の数値は、校内実力考査(第5回)とマーク模試(全統マーク模試)の平均値を用いています。一方、「B%成績」を算出するための各教科・科目の得点は、校内実力考査(第5回)のみを用いています。「A%成績」は5教科(文系：国・英・数・地歴公民・理科，理系：国・英・数・地歴 or 公民・理科2科目)、「B%成績」が3教科(文系：国・英・数，理系：英・数・理科2科目)という点は他の回と共通です。合否追跡調査に用いる総合成績は、第3～5回の各科目の平均値を算出し、その数値を「A%成績」・「B%成績」の算出式に代入しています。

【第5回実力考査教科・科目別講評】

〈国 語〉

平均点は模範解答、解説に記載の通り。時間配分に難がある。時間をかければ古文・漢文のほうが得点しやすかったと思うが、現代文に時間をかけすぎて、ほとんど手を付けず、その時間をかけた現代文もそれほど得点できずという有様であった。また、理系諸君の中には、古典は共通テストのみだから、選択肢の中に答えがあるし、たいして取り組まなくても大丈夫だと思っている人が多いのではないかと。記述できない者はマークも正答できない。「現代文は古文より得点できる」「マークは得点できる」という妄想は捨てましょう。

現代文・評論の記述は、文系・理系ともに書こうとする姿勢はいいが、答えることの骨格を定め、説明する手順を考えてから、書き出すこと。要素はあっても、何を説明したかったのかがよくわからなくなっていたり、因果関係に誤りがあったりした。比喻表現をそのまま使用している答案も数多く見受けられた。

現代文・小説は、梶井基次郎の決して読みやすくない文章の出題であるが、解答に際しては、制限時間内にきちんと文脈をたどり、内容を整理して、作品のメッセージをつかむという手続きが必要である。その際、作品の一人称の述懐を、自分の経験や感受性と勝手に結びつけて、テキストの記述を離れた解答をしないよう気をつけて欲しい。一方で、テキストの記述をそのまま取

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

り出してなんとなく結びつけただけの、いいかげんな記述答案も多く見られた。自分で内容をちゃんと咀嚼した上で解答してもらいたい。

古文・漢文は、語句の意味や文法・句法を着実に身につけた者と、いつまでも雰囲気だけで解いている者との差が、前回よりさらに広がった。現代語訳も和歌の大意も、単語の意味・文法に沿うことが大事です。

〈英 語〉

今回は、最後の実力考査ということで、難易度が高い。時間がさらに足りないと感じた生徒も多かったと思う。国公立大学の二次試験を見ると、長文読解問題が配点の多くを占めている。制限時間、時間配分を決めて、さらに多くの長文問題に取り組んでほしい。長文を制するものは合否を制すると言っても過言ではない。Try, try again!!

授業では共通テスト対策(リスニングを含む)と二次試験対策を並行して行っている。ただし、二次対策と一口に言っても、大学によりその内容は様々である。本文の要約をさせるもの、下線部の説明をさせるもの、内容に関する正しい記述を選ばせるもの、下線部の語句の意味を選択肢から選ばせるものなど多種多様である。今回の長文問題の出題形式も様々である。正解した問題とできなかった問題を確認するだけでなく、きちんと復習して解法を確認しておこう。客観式問題では、文法問題、長文問題ともに知識、経験値ともに伸長が見られるが、記述式問題では、得点源である英作文をはじめ、空所補充問題等でもスペルミスや重要語句の理解が不十分な点が多く、知識、経験値ともに足りない。焦ることなく、じっくり腰を据えて一層の努力を重ねていく必要がある。

採点をしていると、語彙力がまだまだ足りない生徒が多いと感じる。それも、基本レベル～中レベルの語彙が消化できていない生徒が多い。常に辞書等で例文を確認したり、長文の中で同じ単語に繰り返し出会う中で語彙は定着していく。受験本番までそうした積み重ねを継続しよう。

Try, try again!!

英作文においては(翻訳型英作文、自由英作文とも)基本的な表現を文法等のミスなく使えるかどうかの結果を左右する。翻訳型英作文で難解な表現を英語に直させる問題は要注意。出題者は基本表現をマスターしているかどうかを知りたいことを忘れずに。問題を解いて、紙に実際に英文を書いて練習する、必ず自分なりの解答をつくることを継続する。手で書いて声に出して練習することが英作文上達、表現力アップには欠かせない。初心を忘れることなく、志を高く持ち続けて、最後までコツコツ頑張り切りましょう。Start low, aim high!!

《 大問別・問題種別 平均点と正答率 》

大問	[1]	[2]	[3]		[4]	[5]	[6]
項目	長文	長文	長文	長文計	適語選択	同意文	適語補充
配点	34	33	33	100	10	10	10
全体平均	9.1	9.8	10.3	29.2	4.0	1.1	1.9
正答率(%)	26.9	29.6	31.3	29.2	39.7	11.1	19.0
普通科平均	8.8	9.4	10.0	28.2	3.9	1.0	1.7
正答率(%)	26.0	28.6	30.2	28.2	39.0	9.9	17.5
総理平均	11.6	12.3	13.2	37.1	4.5	2.1	3.1
正答率(%)	34.0	37.3	40.1	37.1	45.1	21.1	30.8

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

大問	[7]	[8]		[9]	[10]	[11]	
項目	並べかえ	誤文訂正	文法計	和訳	英訳	英作文	合計
配点	16	6	52	15	18	15	200
全体平均	5.8	1.7	14.6	3.4	6.3	3.1	56.4
正答率(%)	36.5	28.9	28.0	22.4	35.3	20.6	28.2
普通科平均	5.6	1.6	13.8	3.1	6.0	2.9	53.8
正答率(%)	34.7	27.3	26.6	20.5	16.0	19.1	26.9
総理平均	8.1	2.5	20.2	5.6	9.4	4.9	77.2
正答率(%)	50.3	41.4	38.9	37.7	27.2	32.6	38.6

〈数 学〉

神戸高校の校内実力考査問題には、小問（さらにそれに対する小問）が多めに設けられている。後半の小問では思考力を要求されるが、前半の小問は教科書の例題レベルの典型問題であることが多い。このような問題は「やればできる」問題である。大学入試においては必ず得点しなければならない問題である。典型問題で得点できていない原因は演習不足である。効率よく徹底的に問題演習を繰り返すしかない。

現役生に「時間がない」とか「不安だ」とか言っている暇はない。余計なことを考えず徹底的に問題演習を反復すること。できなかった問題については模範解答を参考に解法を理解して後日再度挑戦すること。自力で理解できない場合は数学科の教員や数学が得意な友人などに質問すること。

期末考査が終わると、すべてのクラスで共通テスト対策の授業が始まる。連日共通テスト対策問題を解くことになるが、決して消化不良になることなく、その日にやった問題はその日のうちに、答え合わせ、間違い直し、分からなかったところの理解等を必ず行うこと。「明日やろう」などと先延ばししたところで、その明日にも新たな課題が課せられるので、結局先延ばしした課題は放置される可能性が高い。1日1日やりきることが大切である。

12月以降は共通テスト対策が中心になると思うが、理系の生徒は数Ⅲの演習（特に積分法の計算）も定期的に行っておくべきだ。1カ月半のブランクで数Ⅲをすっかり忘れてしまう生徒をたまに見かける。そうならぬようにバランスよく学習を進めてほしい。

〈物 理〉

①は力学分野の出題で、円筒状上の容器に満たした液体中での円柱の運動について、浮力と単振動の関係を理解して物理量（速さ、加速度、張力、仕事、位置エネルギーの変化等）を求める問題である。②は波動（光）分野の出題で、ダブルスリットのヤングの実験について、近似で光路差を計算して空气中及びガラス中の場合での明線間隔や干渉条件を求める問題である。③は電気分野の出題で、平行板コンデンサーの極板間隔を変えて電荷・電場・静電エネルギー・静電気力を求める問題である。①と③とは全体の得点率が約3割台と低調、②は全体の得点率が4割台とやや低調であった。①の力学分野については、運動方程式・仕事・力学的エネルギーの関係式がまだよく理解できていないと思われるので、力学の関係式や単振動から物理量を求めることができるようにしたい。②の波動（光）分野については、光路差の近似計算から明線間隔を求めることが十分でないので、干渉条件を理解して計算ができるようにしたい。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

③の電気分野については、コンデンサーの接続及び静電エネルギーの意味をしっかりと把握して、電場、電気量、静電エネルギーの変化などが求められることができるようにしたい。前回の実力考査より得点率は上昇しているが、力学、波動(光)、電気の各分野で理解がまだ不十分でないので、類似問題を解いて要点を押さえる必要がある。問題演習にしっかりと取り組んで、着実に求めることができるようにしておきたい。

	得点率 %			平均点
	1	2	3	
全体	35.7%	44.9%	30.9%	36.7 点
普通科	33.7%	42.8%	29.6%	34.9 点
総合理学科	45.3%	55.6%	37.7%	45.5 点

〈化学〉【理系、総理】

今回は本来二次で配点の大きな有機化学および高分子の範囲を大問[3][4]として出題しました。特に高分子は外部模試等でもまだ出題されにくい範囲ですから戸惑った人もいたかもしれません。

今回答案を見て感じたことは、一つ目は『時間不足になった人が多い』ということです。二次問題は6割前後が合格ラインなので全部解き切る必要はないとはいえ、大問[2]を除く3つはさらに(1)(2)に分割しましたから、実質7題を各10分程度で解く必要があります。式を立てた後の上手な計算の仕方も含めてスピード感をもって普段の二次演習をすること(解答・解説を見ているだけでは実力は養成できません! 手と頭を動かして解くこと)を心がけましょう。

二つ目は『無機・有機・高分子の復習不足の人が多い』ことです。化学の教科書の後半の3つの単元は『暗記すべき項目の多い部分』です。化学では、物質に関する知識+思考力(あてはめて考える応用力)が試されます。暗記しておくべき知識は多いため1~2日で全部覚えることなどできる分量ではありませんが、共通テストまでの残りの日々でコツコツ覚え直していけば十分間に合いますので急ぎましょう。

〈生物〉 受験者 38人 平均 51.8点 (最高点80点, 最低点18点)

全体的に2次試験における筆記力を意識して問題を作成した。ここ数年出題が急速に増えている雌雄に関する生物学的な見解に関する問題、さらに近年頻出のPCR法、チャンネルロドプシンを利用した行動実験、ジーン・トラップ法の実験考察問題(大腸菌を利用した遺伝子導入)、また、模試等で得点力が低い受容器や応答に関連する問題、CRISPR/Cas9を使ったゲノム編集等で問題を構成した。

60点以上が14名、30点以下が2名と前回に比べ大きく改善した。学力の差が少し縮まり、標準偏差が前回の20から13へと改善された。しかし、上位層ではもっと得点が伸びなければいけないのに、得点率が下がり、上位層の弱点も見つかったのはこの時期でよかったのかもしれない。

性決定や性に関する問題、今年度のノーベル医学生理学賞(ホモサピエンスにホモネアンデルターレンシスのゲノムが存在することを証明)、コロナ関連、チャンネルロドプシン等の実験考察問題は各大学での出題確率は高くなると予想されるので対策をしておいて欲しい。ただし、忘れてはいけないのが基礎基本の徹底である。これがあって初めて難問に挑戦できるので、共通テストまでしっかりと基本用語や過去の生物学の重要実験の確認をしておくことが大切である。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈日本史〉平均 52.0点**1 出題内容**

- 【1】 武家諸法度と江戸中期までの歴史 【2】 江戸前期の外交史と宗教政策
 【3】 古代～戦国期の土地制度史と政治史 【4】 織豊政権期～戦後の土地制度史と政治史
 【5】 学問の歴史

2 分析

経済・金融史の理解の甘さが見られることが分かったのが今回の収穫である。論述では経済・金融の理屈面の理解が出来ていない人がいるので、よくわかっていない自覚がある人は授業担当者に聞いた方がよいだろう。特に江戸の金融政策の理解がイマイチだったので貨幣の質、貨幣の流通量、物価の状態（インフレかデフレか）、政治担当者（何が原因で誰がどのような目的で貨幣改鋳を行ったか）、政治への影響をしっかりとテーマ史として把握してほしい。近現代も同様に明治初期から日清戦後まで、第1次世界大戦後から昭和恐慌期までの金融政策の歴史の理解が難しい。金本位制を軸に整理してほしい。

今回は前近代史を多めに出したがうろ覚えなところがところどころあるのでよく確認してほしい。特に鎌倉の政治史は得宗の名前が似ているためどの政策が誰の時に行われたのかうろ覚えで問題を間違えているパターンがみうけられる。苦手な人が多いわりに教科書ではっきり書かれていない箇所なので自分で表にするなどよく整理をする方がよいだろう。

3 指導方針・学習の心構え

比較的長い時系列で聞かれるテーマ史はある程度長い時間軸で理屈を理解しつつ学習してほしい。テーマ史が苦手だと自覚がある人は問題演習をこなす段階にきているので、苦手なテーマを繰り返し学習して定着させよう。自分が出たら嫌だなど思うテーマ史から取り組みましょう。たとえば江戸の学問史は複雑で覚えにくく誰もが嫌なので繰り返し演習しましょう。

〈地理〉

共通テストの問題も国公立2次試験の問題も必要な知識はほとんど変わらない。2次試験の方が細かい知識が必要であるが、問題の質はセンター試験の方が高いともいえる。人口、一人あたりGNI、気候、地形の基本知識を50カ国程度ではいつでも使えるようになってほしい。第二次世界大戦後の世界情勢も把握できていることが必須である。

今回のエジプト・アルジェリア、オセアニアの問題はしっかり復習し、似たような問題に対応できるようにしてほしい。

〈世界史〉1 出題内容

大問1～7…標準～超難関私大レベルまで。簡単なレベルの出題数を減らした。

初見資料の読解問題、推測する問題（大学入試センターが出題明言）など解答に時間を要する問題を増やした。

大問8・9…論述形式（指定語句付きの基礎レベル）

2 分析

- 啓発の意味をこめて、マイナー地域や現代史の出題を増やした。正答率がぐっと下がる。
 （正答率4割未満…メキシコ史、シチリア史、シオニズム、トランプ大統領）
- 共通テストはリード文・掲載資料を読まないで解けない。そういう点で、基本的な用語なのに解答できていない問題が目立った。（ティムールなど）
 正確に、速く読み取るため、時間を厳しく設定して取り組む。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉
 『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

- ・授業で「世紀感」をつけるように指導しており、定着が進んでいる(少なくとも、世紀を意識した学習をしようとしている)。世紀の引っ掛けに、思ったより掛からなかった。

3 指導方針・学習の心構え

鉄則「×難しい問題を答えて差を広げる」→「○易しい問題を答えて差をつけられない」

- ・過去問を解く・細かいポイントに気を取られない・語句の暗記より理解に努める・
- 「何世紀?」「どこ?」を意識する・まんべんなく勉強する

※指導に関してはそれぞれ不得手な部分が異なるため、できるだけ個別に対応する。

[冬季三者面談について]

これから、冬季三者面談が始まります。実力考査等の成績も出揃い、出願に向けての突っ込んだ懇談を予定しています。主な話題としては、成績等の現状分析、「第一志望」に基づいた出願予定校の確認、「第一志望」へ出願するための現時点での課題の洗い出し、今後の学習計画等です。面談で、こちらから志望変更を迫ることはありません。神戸高校は精一杯生徒の背中を押します。有意義な懇談になるよう、家庭でも事前に保護者の方々としっかり話をしておいてください。ただし、安易な志望変更は不幸な結果を招くだけでおすすめしません。なお、大学入学共通テスト後にも希望される方は面談をもつ予定です。

[冬休み前中の教室利用について]

この時期は、3年生のみが特別な動きをすることが多くなるので、他学年への配慮をしつつトラブルのないよう学習活動(自習)を行ってください。

- ・12/12(月)~22(木)：特別授業期間(3年生のみ午前中授業)：時間帯 3限終了後~17:00
- ・12/28, 29, 30; 1/4, 5, 6, 7 時間帯 8：20~17：00：自習場所：進路資料室・指示教室

【注意】①平日の下校時刻(17:00)までであっても、三者面談のためHR教室の利用はできません。

②特別編成授業中の午後は、1・2年生は授業、3年生は三者面談を行っています。廊下、食堂等で音(私語を含む)を一切出さないよう十分注意してください。

③土日祝日および12/31~1/3は登校しないでください。

[2学期期末考査以降から3学期にかけての予定]

- ・12/12(月)~12/22(木)：特別時間割(午前中授業[3コマ])※12月中旬~：冬季三者面談
- ・12/23(金)：大掃除、終業式
- ・12/26(月)：共通テストプレテスト①(全日)
- ・12/27(火)：共通テストプレテスト②(半日)
- ・01/10(火)：始業式
- ・01/11(水)~01/13(金)：特別時間割(午前中授業[3コマ])※01/13(金)：学年集会(3限)
- ・01/14(土)~01/15(日)：大学入学共通テスト
- ・01/16(月)：1限 学年集会 2・3限 自己採点・解答復元作業
- ・01/17(火)~01/30(月)：特別時間割(午前中授業[3コマ])
- ・1/23(月)~：国公立大学(前期・後期・中期)出願開始(~2/3(金)締切まで)
- ・01/31(火)：大掃除・学年集会・LHR

【後記】受験とは何のためにするのか?「志望校に入学するため。」もちろんそれもあります。しかし何よりも**試練を体験し、困難に挑戦し、その壁を乗り越える力を体得すること**が最も大切なことだと思います。受験を通してその「力」と「自信」を手に入れることが一番の目的です。受験を通して成長できた人は、将来社会に出たときに必ず直面するさらに大きく困難な壁も乗り越えていくことができるはず。人生の壁を前にしてどう行動するかでその人の真価がわかります。大志を実現してくれることを期待しています。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。